

# 岡山県感染症週報

2011 年 第 36 週 ( 9 月 5 日 ~ 9 月 11 日 )

※第 37 週 週報は 9 月 23 日(金)が祝日のため、26 日(月)にホームページに掲載いたします。

**岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。****◆2011 年 第 36 週 ( 9/5 ~ 9/11 ) の感染症発生動向 (届出数)****■全数把握感染症の発生状況**

第 34 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 ( O157 50 代 女 )

第 35 週 2 類感染症 結核 2 名 ( 80 代 男 1 名・女 1 名 )

5 類感染症 ウイルス性肝炎 1 名 ( 30 代 男 )

第 36 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 4 名

( O115 30 代 男 1 名・50 代 女 1 名、O157 幼児 女 1 名・40 代 女 1 名 )

の報告がありました。

**■定点把握感染症の発生状況**

○手足口病は、今週わずかに増加しました。

○RS ウイルス感染症は、第 33 週から増加しており、第 36 週 ( 9 月上旬 ) としては過去 10 年に比べ、患者数が多い状態です。

○流行性角結膜炎は、備中地域で感染症発生レベル 3 がつづいています。

○流行性耳下腺炎は、県南部を中心に患者数が増え、備中地域では感染症発生レベル 2 になりました。

○ヘルパンギーナは、全県では減少しました。

○マイコプラズマ肺炎は、減少しました。

**【速報】第 37 週 腸管出血性大腸菌感染症 5 名 ( O26 60 代 女 1 名、O111 児童 男 1 名、O103 幼児 女 1 名・児童 女 1 名、O157 10 代 女 1 名 ) の発生がありました。**

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、9 月に 11 名、今年 9 月 14 日までに 57 名の発生がありました。岡山県では**腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令**し、感染予防を呼びかけています。
2. **手足口病**は、第 26 週をピークに患者数が減少し、第 33 週より横ばいの状態でしたが、今週わずかに増加しました ( 定点あたり 1.24→1.46 人 )。特に、美作地域 ( 1.83→4.33 人 ) では患者が増えました。  
手足口病については『**今週の注目感染症**』をご覧ください。
3. **RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は、今週も増加し ( 定点あたり 0.20 → 0.28 人 )、第 36 週 ( 9 月上旬 ) としては、過去 10 年に比べ患者数が多い状態です。  
RS ウイルス感染症は、冬 ( 11 月 ~ 1 月 ) に乳幼児の肺炎・細気管支炎などを起こす呼吸器感染症で、1 歳以下が流行の中心です。特に 6 ヶ月以下の乳児においては、重篤な症状を引き起こすことがあります。  
国立感染症情報センター第 34 週週報においても、第 30 週以降の増加が報告されており、今後の動向に注意が必要です。
4. **流行性角結膜炎**は、前週より減少しましたが ( 眼科定点 12 医療機関 定点あたり 1.17 → 0.83 人 )、備中地域ではひきつづき患者が多く ( 定点あたり 9.00 人 )、第 34 週から、大きな流行が継続しつつあると考えられる感染症発生レベル 3 がつづいています。
5. **流行性耳下腺炎**の定点あたり患者数は増加しました ( 定点あたり 1.13 → 1.59 人 )。特に倉敷市 ( 1.82 → 2.73 人 )、備前地域 ( 0.50 → 1.10 人 )、備中地域 ( 2.14 → 3.71 人 ) で患者が増え、備中地域では今後大きな流行が発生する可能性が高いレベル 2 になりました。発生の多い地域では感染に注意して下さい。
6. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者数は、全県では減少しました ( 定点あたり 1.07 → 0.91 人 )。しかし備中地域 ( 1.00 → 2.57 人 ) や真庭地域 ( 1.00 → 3.00 人 ) では患者の増加が見られますので、ひきつづき手洗い・うがいを励行し、感染予防に努めましょう。
7. **マイコプラズマ肺炎**の定点あたり患者数は減少しましたが、過去に比べ高いレベルです ( 基幹定点 5 医療機関 定点あたり 3.20 → 1.40 人 )。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	➡	★
咽頭結膜熱	➡	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	★
感染性胃腸炎	➡	★★	水痘	➡	★
手足口病	➡	★	伝染性紅斑	➡	★
突発性発疹	➡	★★	百日咳	➡	
ヘルパンギーナ	➡	★	流行性耳下腺炎	➡	★★
急性出血性結膜炎	➡		流行性角結膜炎	➡	★
細菌性髄膜炎	➡		無菌性髄膜炎	➡	
マイコプラズマ肺炎	➡	★★	クラミジア肺炎	➡	★

### 【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少    ↓ 1.1～2倍未満の減少    ➡ 1.1未満の増減

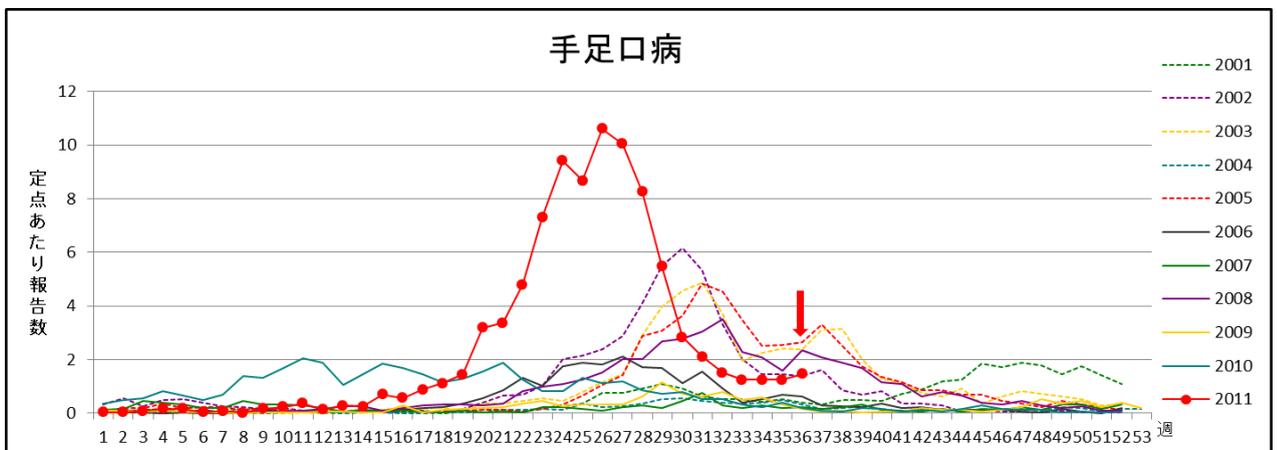
➡ 1.1～2倍未満の増加    ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし    ★僅か    ★★少し    ★★★やや多い    ★★★★多い    ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

## 今週の注目感染症

### 手足口病



手足口病の定点あたり患者数は、第26週をピークに減少し、第33週より横ばいの状態でしたが、今週わずかに増加しました（定点あたり1.24→1.46人）。特に、美作地域（1.83 → 4.33人）では患者が増えました。

手足口病は、幼児を中心に流行し、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症です。発生のピークは夏ですが、秋から冬にかけても小さな流行が見られることがあります。

今年是全国的に大きな流行になり、1982年に感染症発生動向調査が開始されて以来、最多の報告数になりました（国立感染症情報センター第28週週報より）。現在の流行の中心は東北地方ですが、患者増加が早かった中国・四国地方では、減少傾向にあった患者が再増加しているという報告がされています。今後、岡山県でも再び患者の増加が懸念されますので、手洗い・うがいを励行し感染予防を心がけましょう。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3  
**数字** は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 36週 (2011/09/05～2011/09/11)

2011年9月14日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	14	0.26	4	0.29	5	0.45	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
咽頭結膜熱	15	0.28	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	11	1.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	6	0.43	6	0.55	-	-	3	0.43	-	-	1	0.50	-	-
感染性胃腸炎	191	3.54	44	3.14	60	5.45	38	3.80	18	2.57	12	3.00	8	4.00	11	1.83
水痘	21	0.39	12	0.86	2	0.18	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	79	1.46	24	1.71	8	0.73	6	0.60	10	1.43	-	-	5	2.50	26	4.33
伝染性紅斑	9	0.17	6	0.43	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
突発性発疹	23	0.43	11	0.79	5	0.45	3	0.30	1	0.14	1	0.25	-	-	2	0.33
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	49	0.91	6	0.43	11	1.00	5	0.50	18	2.57	-	-	6	3.00	3	0.50
流行性耳下腺炎	86	1.59	13	0.93	30	2.73	11	1.10	26	3.71	4	1.00	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	-	-	1	0.25	-	-	9	9.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	1.40	1	1.00	6	6.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 36週 (2011/09/05～2011/09/11)

2011年9月14日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当														
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	15	0.28	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	11	1.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.30	6	0.43	6	0.55	-	-	3	0.43	-	-	1	0.50	-	-
感染性胃腸炎	191	3.54	44	3.14	60	5.45	38	3.80	18	2.57	12	3.00	8	4.00	11	1.83
水痘	21	0.39	12	0.86	2	0.18	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
手足口病	79	1.46	24	1.71	8	0.73	6	0.60	10	1.43	-	-	5	2.50	26	4.33
伝染性紅斑	9	0.17	6	0.43	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	49	0.91	6	0.43	11	1.00	5	0.50	18	2.57	-	-	6	3.00	3	0.50
流行性耳下腺炎	86	1.59	13	0.93	30	2.73	11	1.10	26	3.71	4	1.00	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	0.83	-	-	1	0.25	-	-	9	9.00	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2011年 第36週 2011/09/05～2011/09/11 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	14	5	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	15	-	1	5	2	3	2	-	-	2	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	-	-	1	1	3	3	3	1	2	-	2	-	-	-
感染性胃腸炎	191	5	12	35	13	17	20	12	9	9	7	8	15	7	22
水痘	21	-	-	5	1	4	3	4	1	1	1	-	1	-	-
手足口病	79	-	4	21	23	11	6	3	8	1	-	1	-	-	1
伝染性紅斑	9	-	-	1	-	2	-	3	3	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	23	-	11	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	49	-	4	10	12	10	6	2	3	1	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	86	-	-	5	8	11	13	11	13	2	5	5	4	6	3

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	1	3	-	1	-	1

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	-	2	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

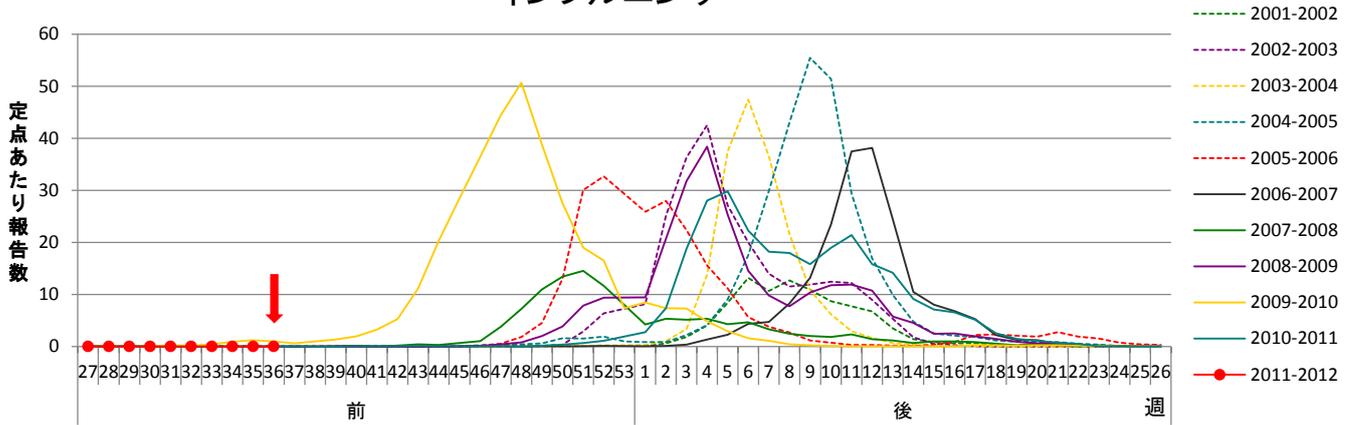
2011年 36週

分類	疾病名	2011			疾病名	2011			疾病名	2011		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	343	352	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	1	47	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	3	2
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	1	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	13	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	10	13	ウイルス性肝炎*3	-	7	7	急性脳炎*4	-	2
クリプトスポリジウム症		-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
後天性免疫不全症候群		-	10	22	ジアルジア症	-	2	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
先天性風しん症候群		-	-	-	梅毒	-	8	9	破傷風	-	2	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	1	2
麻しん		-	4	3		-	-	-		-	-	-

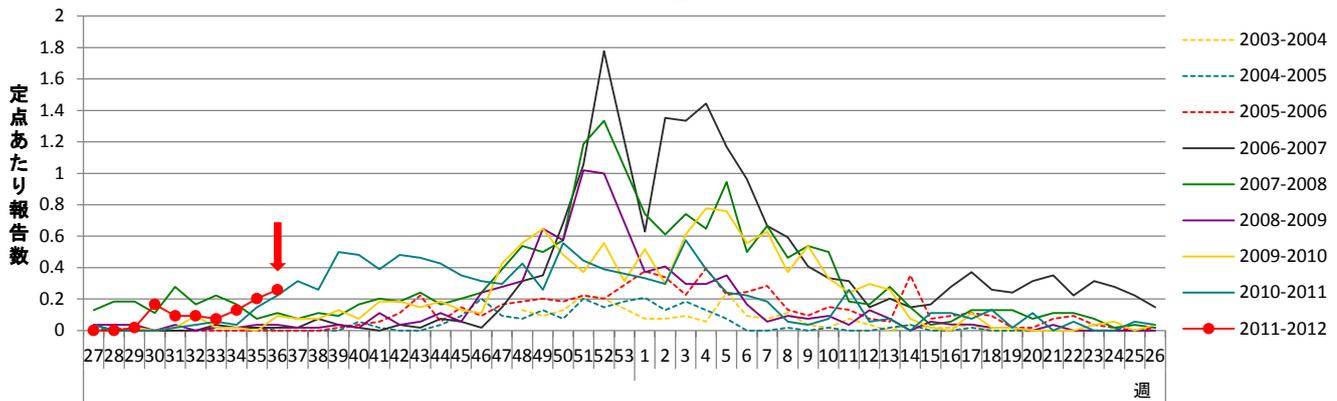
(注) 今週は岡山市から全数把握対象感染症患者数の報告があったため、累計が大きく増加しているところがあります。

岡山市からの全数把握対象感染症の報告は、1ヶ月に1回累計されます。

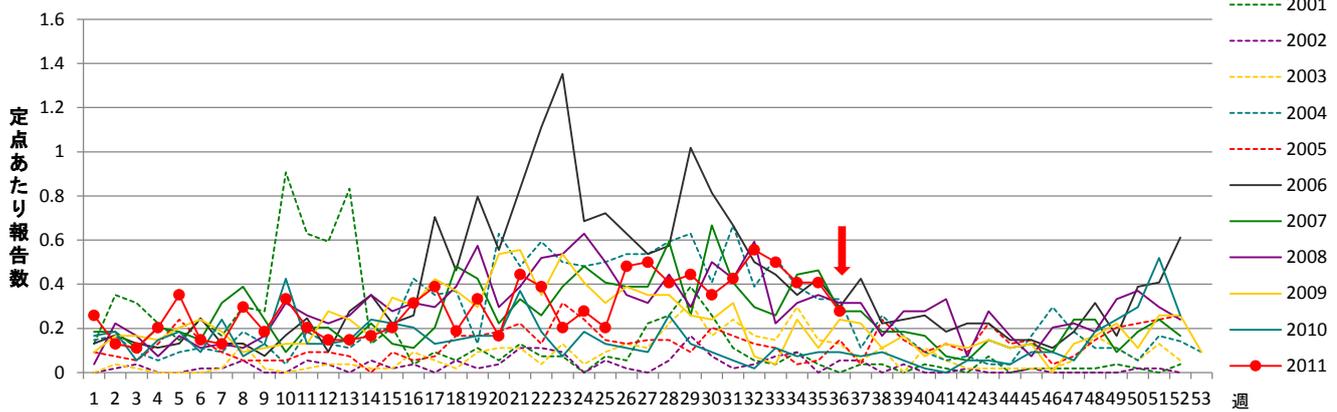
### インフルエンザ



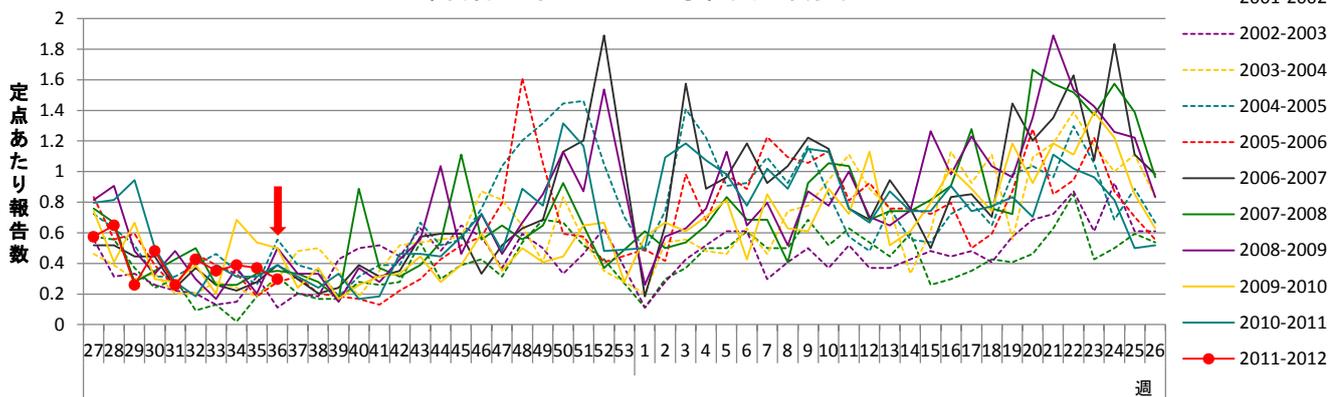
### RSウイルス感染症



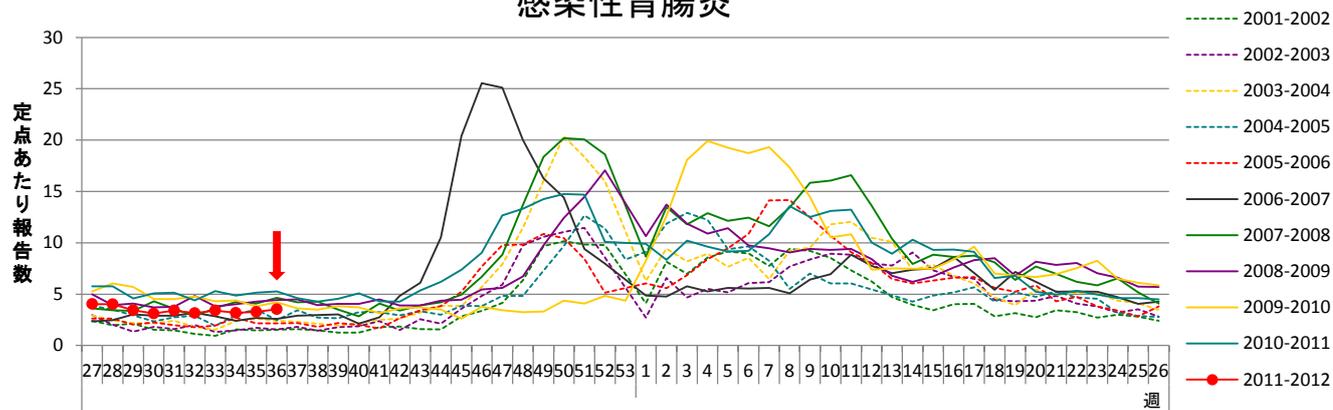
### 咽頭結膜熱



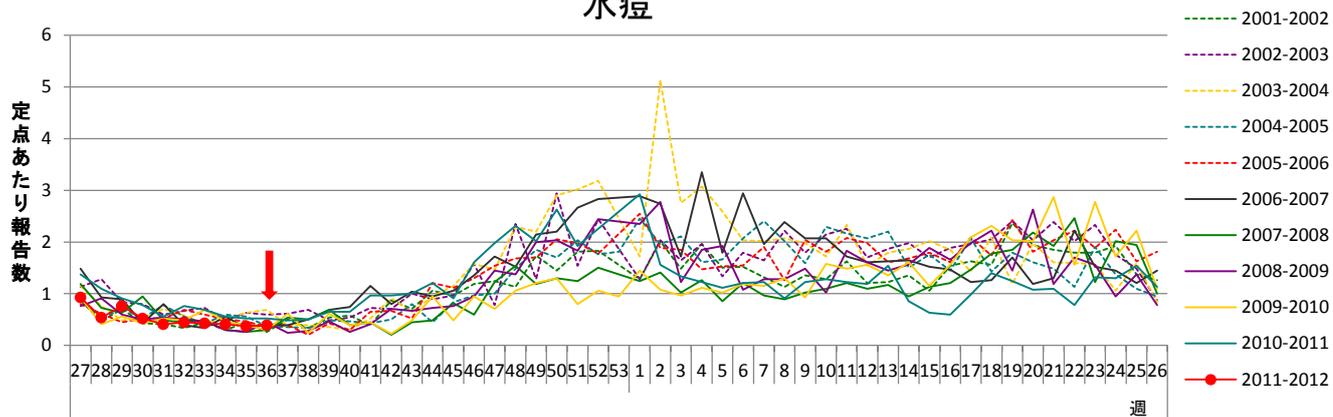
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



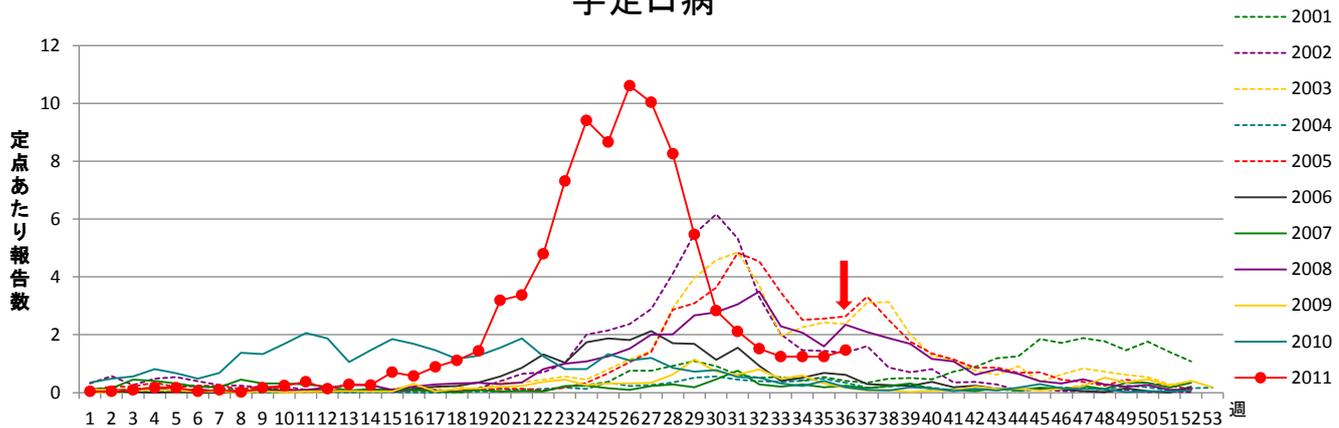
### 感染性胃腸炎



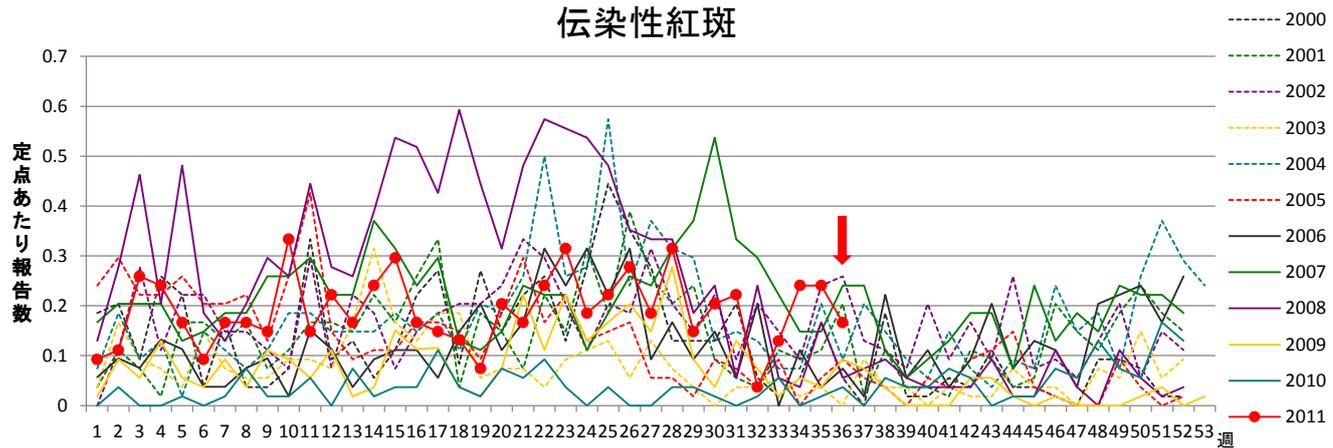
### 水痘



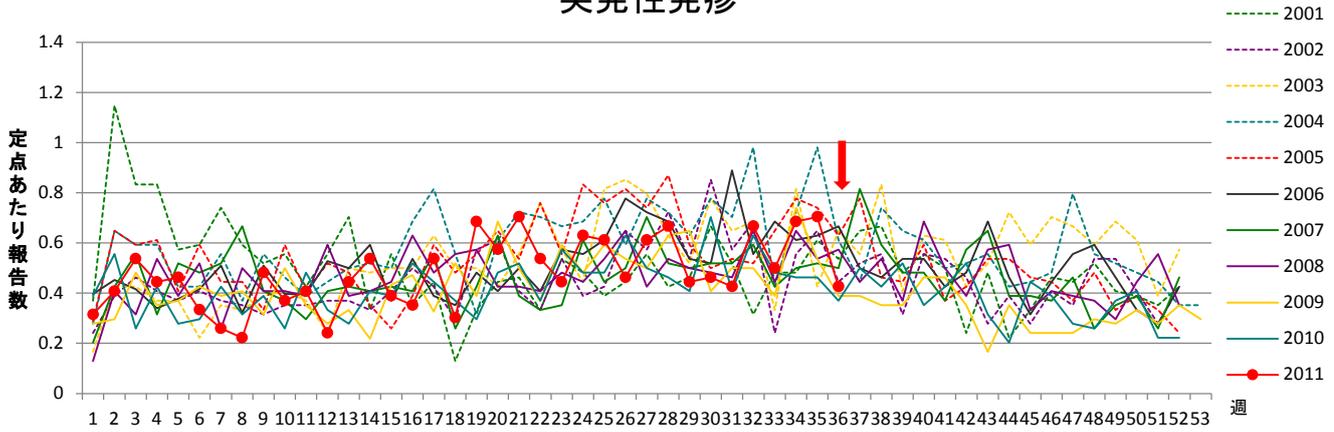
### 手足口病



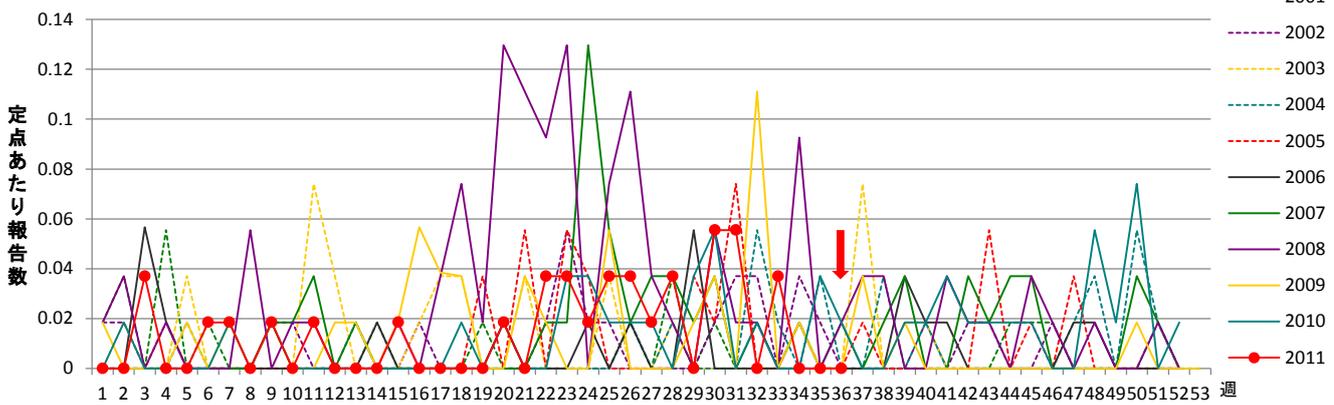
### 伝染性紅斑



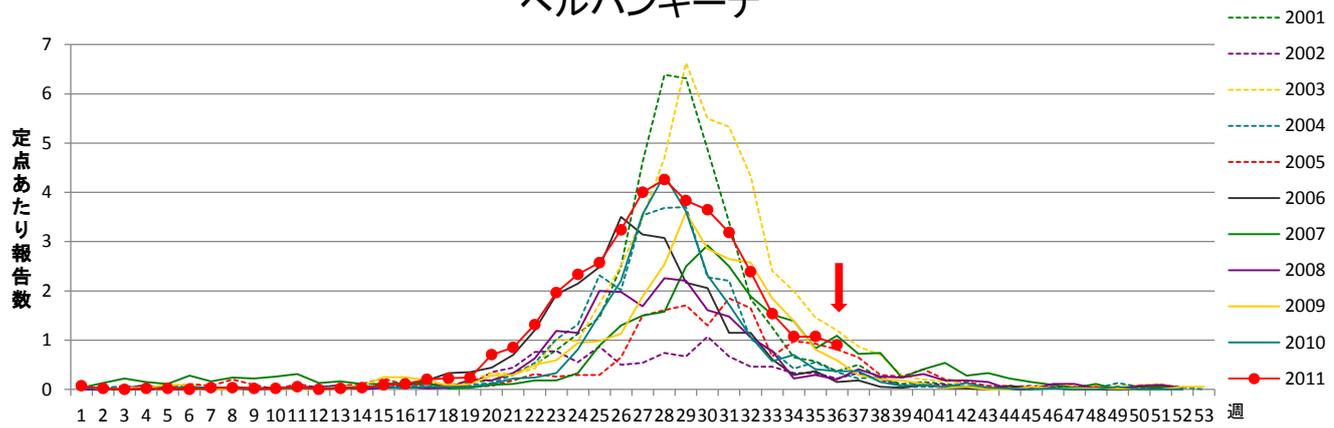
### 突発性発疹



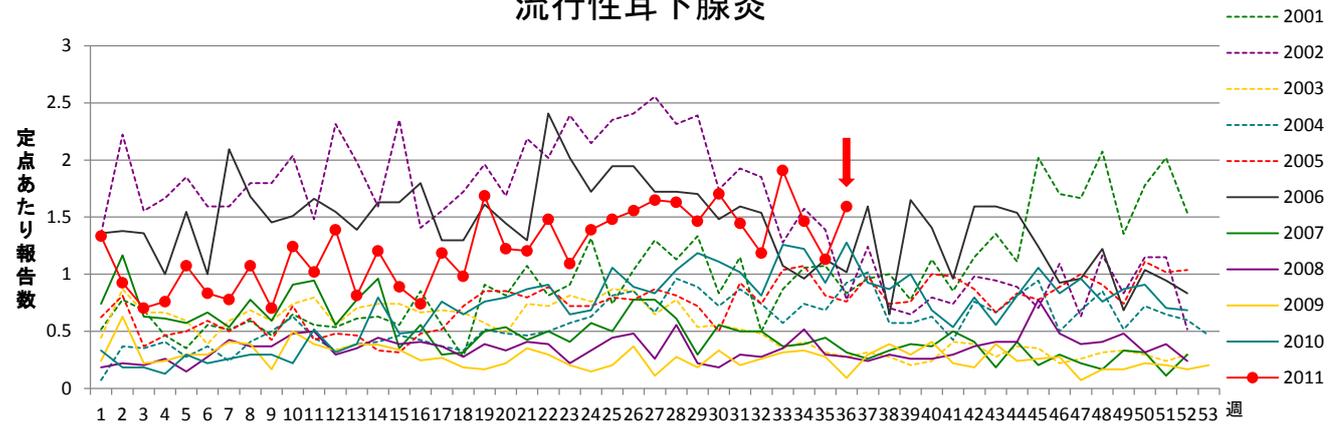
### 百日咳



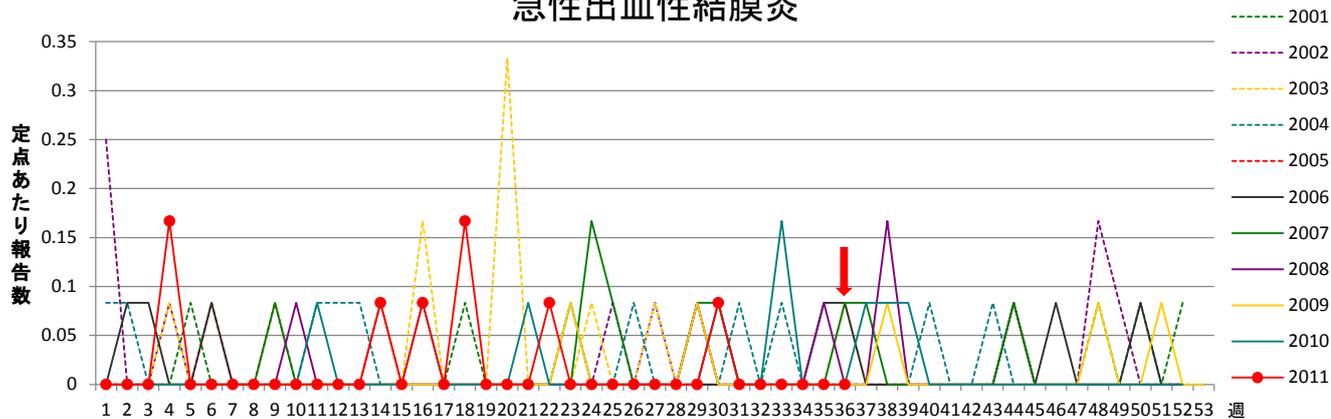
### ヘルパンギーナ



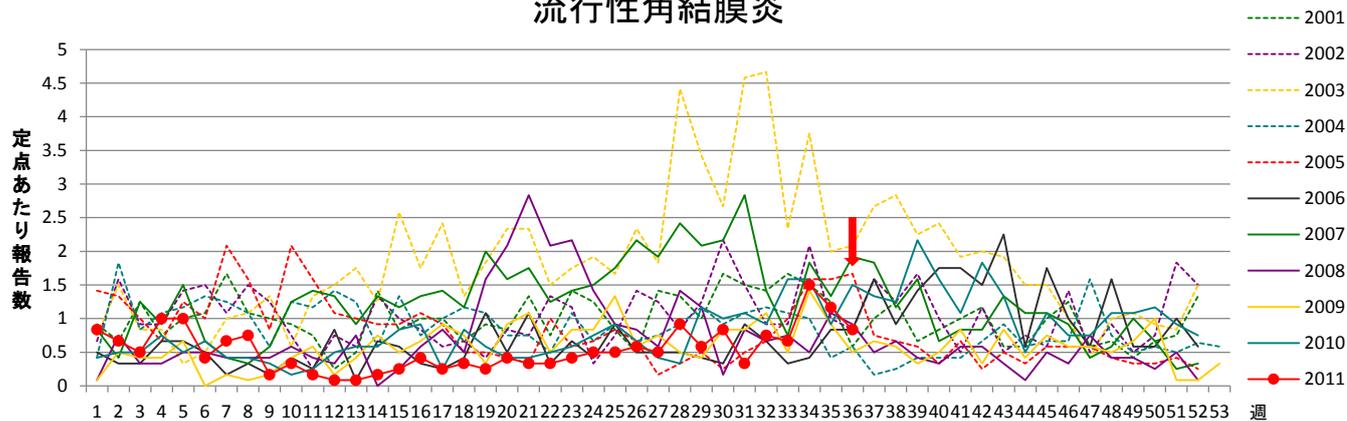
### 流行性耳下腺炎



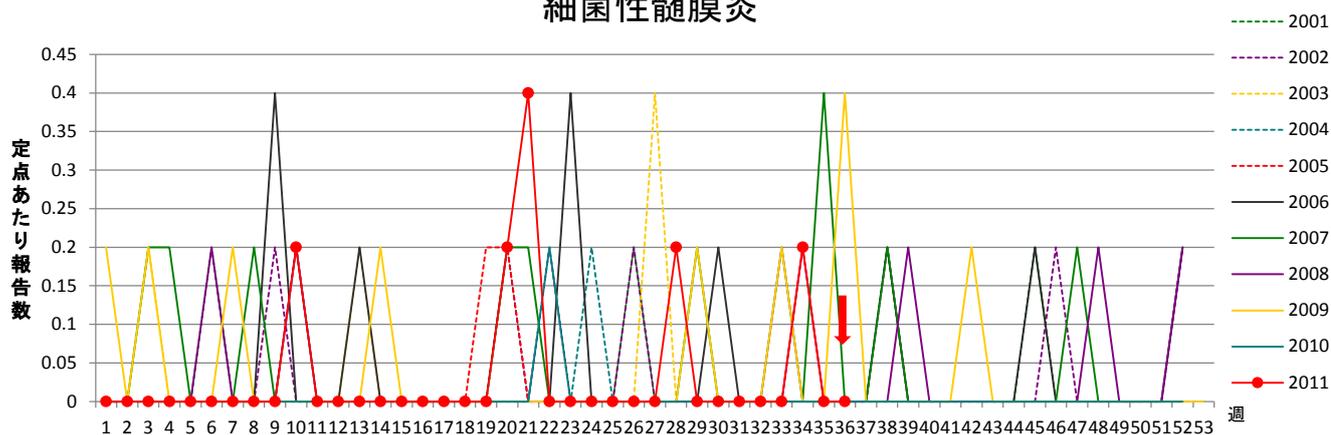
### 急性出血性結膜炎



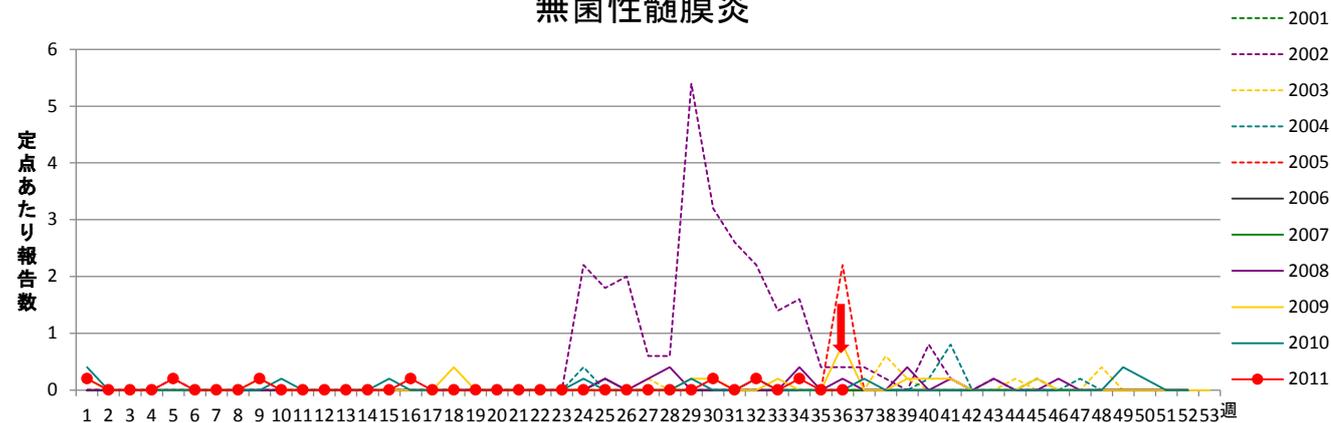
### 流行性角結膜炎



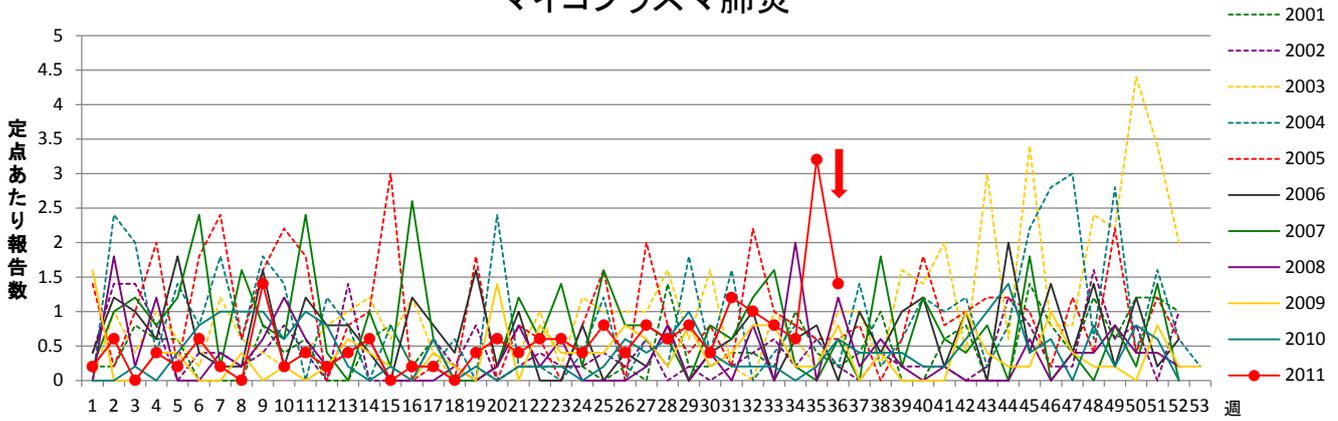
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

